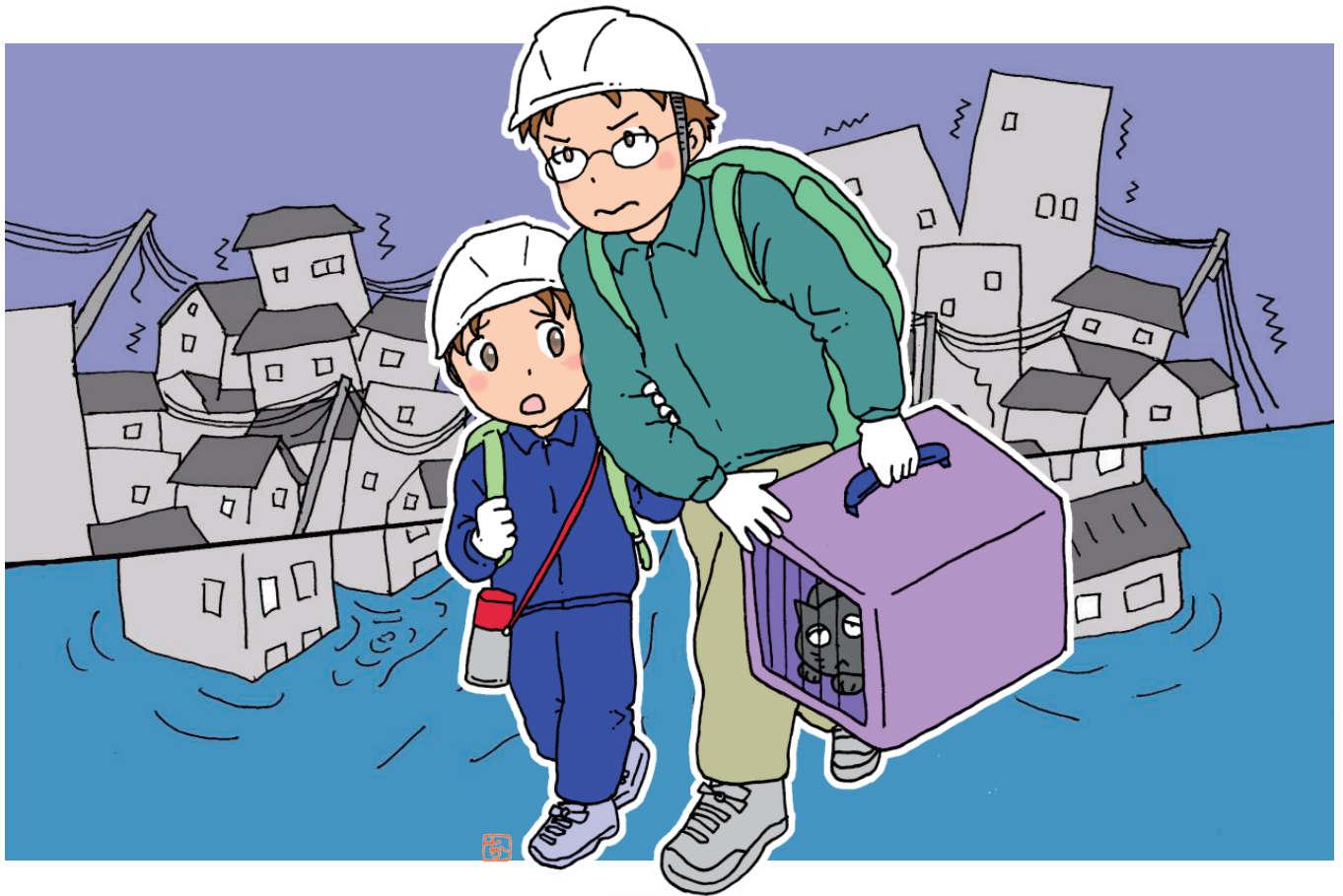


# 災害の時、動物を守るために



災害時にペットを守ることができるのは飼い主だけです  
家族とペットが災害を乗り越えるためには日頃からの心構えと備えが必要です

## 1 日頃からの災害への備え

### ◆ 住まいの防災対策

まず、飼い主が無事であるために、家の耐震化や家具の転倒防止などの対策を取っておきましょう。

### ◆ 家族での話し合い

災害が起こったときに、どの道を通ってどこに避難するかなど日頃から話し合っておきましょう。

### ◆ ペットのしつけ

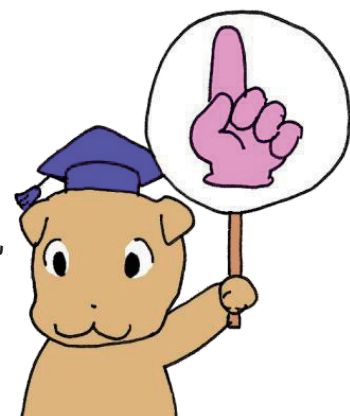
日頃から、むやみにほえないなど基本的なしつけをしておきましょう。

### ◆ ペットの健康管理

各種伝染病ワクチンや狂犬病ワクチンを接種し、ノミ、ダニ、フィラリアなどの寄生虫の予防・駆除を行っておきましょう。

### ◆ 迷子札やマイクロチップをつける

災害時に万が一迷子になったときのために、首輪や迷子札、犬には鑑札と狂犬病予防注射済票をつけましょう。マイクロチップも有効です。



## 2 ペットのための防災用品

避難所では、ペットに必要な生活用品は、基本的に飼い主の責任でそろえることとなります。災害時にすぐ持ち出せるように準備しておきましょう。

### □ 餌と水

救援物資が届くまでには時間がかかりますので、少なくとも5日分は用意してください。被害が大きい場合に備えて2週間分を用意しておく目安です。ストレスで食欲がなくなることもありますので、好物や使い慣れた食器なども用意しておくといでしょう。



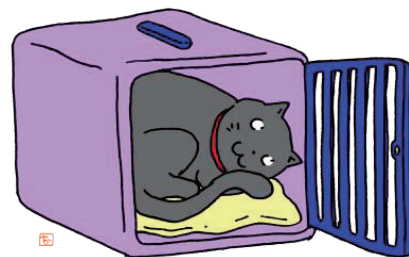
### □ 薬や療法食

災害時には薬や療法食が手に入りにくくなるので、治療中のペットには薬や療法食の予備を準備しておいてください。

### □ キャリーバッグ又はケージ、首輪、リード※など

災害時には、小型犬や猫などの小動物はキャリーバッグ又はケージに入れ、中型犬や大型犬はリードなどでつないで避難し、管理することになります。

※リード:散歩の時などに動物をつなぐための引き紐



### □ ペットと飼い主の情報を記録したもの・写真

ペットのワクチン歴や病歴、飼い主の連絡先などを記入した健康手帳があればベストです。飼い主と一緒に写っている写真を何枚か用意しておくことでペットの捜索や飼い主の確認に使用できます。携帯電話に写真を保存しておくのもよいでしょう。

### □ ペット用品

ペットシート、トイレ用品、タオル、ブラシなど、それぞれの動物に必要なペット用品を用意しておきましょう。

## 3 災害が発生したら

まずは、飼い主の安全から。ペットを守ることができるのは、飼い主のあなた自身です。

状況にもよりますが、事情の許す限り、ペットと一緒に避難(同行避難)してください。

飼い主のための  
防災用品も忘れず  
準備してね!

## 4 避難先での注意点

避難所には、動物アレルギーを持つ人、動物が苦手な人、幼い子供、心身を休めたい人など様々な人が集まりますので、普段よりも周りの人への配慮が必要です。

避難所ごとに「飼い主会」を作って飼い主同士が協力し、避難所のルールに従ってペットの管理を行ってください。



さらに詳しく知りたい方は…

環境省ホームページ「ペットの災害対策」

[https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/1\\_law/disaster.html](https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/1_law/disaster.html)